



虹色の仲間たち

丹波・播磨路芸術の夢 ニュースレター NO.8

<http://art-farm.jp/>

E-mail sekiguchi@sekinomiya.com

発行日 平成 25 年 4 月 25 日

「山笑う」とは俳句の春の季語ですが、確かに新緑のこの季節は、初夏の濃い緑とは違った優しく陽気で美しい景色が味わえます。4月中旬、絵と陶芸が趣味の豊田夫妻がお山に来られました。



図1、ローカルで無人の「古市駅」到着。豊中市にお住まいの豊田さんは、奥様が陶芸、ご主人は絵が趣味です。4月17日、お天気はあいにくの曇り空でしたが、JR丹波路快速篠山口行きで無人の古市駅に午前11時頃に到着され、車で迎えに行きました。豊田さんの第一声「田舎やな。でも、空気が美味しいやろな」でした。



図2、お山に到着後しいたけ狩りに。

●しいたけ狩りに

古市駅から車で約10分、お山に到着。そのままお山の中腹にあるしいたけ狩りにお誘いしました。少し大きくなり過ぎているものもありますが、とりあえずその日のバーベキューに間に合う物を調達して、海鮮バーベキューが始まりました。



図3、鯛とのだ黒の海鮮バーベキュー。



図4、岩盤が面白いね、と記念撮影。

少しお山を散策した後、炭火を熾して丹後半島から直接仕入れた新鮮な鯛、のだ黒、カレイの一夜干しを炉で焼きました。50cmもある鯛は焼くのに少し時間がかかりましたが、カレイは直ぐに美味しく焼けました。お二人はノンアルコールビールで乾杯して、話が盛り上がりました。ご夫婦は自然が大好きで博物館や植物園にもよく行かれて植物の種類も大変詳しく、植物図鑑のハンドブックを持参されて珍しい花や植物の木肌も詳しく観察されていました。



図5、熟年とは言えお若いお二人です。

この時期はウグイスが鳴いて春を感じます。山桜と椿が満開でした。奥様が面白い花を見つけられました。花の名前が分かりません。バーベキューを食べながら調べてみたら「しきび」でした。少し臭いがあって猪などは嫌うようです。午後から陽差しが明るくなり天気が好転しました。



図6、しきびの花。

お山での楽しみ方として、ゆっくり仮眠をとって頂くことを勧めていますが、お二人にもリクライニングの椅子で横になってもらいました。陽春の微風とウグイスの声に耳を傾け、ユックリとくつろいで頂きました。



図7、お山で仮眠のご夫妻。

●お問い合わせ及び連絡先

丹波・播磨路芸術の夢発起人関口之洋
兵庫県川西市大和東2-13-10
創房関宮(有)内 電話 072-791-5158
FAX 072-791-5159
携帯電話 090-4907-9870
携帯メールアドレス

sy-117coupegemy@docomo.ne.jp